

タイトル	中国人の日本に対する印象の変化 — 日本動漫から考える —		
所属	南山大学外国語学部アジア学科 張ゼミ	氏名	小谷萌夏

動機

「中国動漫¹新人類 日本のアニメと漫画が中国を動かす」で、検索サイト百度知道の投稿の「日本をあれだけ憎んでいるはずなのに、なぜ日本のアニメを見るのが好きなの？」という質問の紹介をしている。

⇒2006年の情報であるため、現在は変わっているのではないかと疑問に思った

¹日本語で「アニメと漫画」の意味

研究目的

上記の背景は2006年の質問で、今から15年前のものである。

その間インターネットの普及により、中国ではアニメを見るプラットフォームが規制²が強いテレビから、動画サイトへ変化している。このイノベーションから2006年の時から中国人の解釈や考えが変わっていると仮定し、日本動漫を通して現在の中国人の日本に対する考え方を研究する。

²中国のゴールデンタイム（17:00～21:00）に外国アニメの放送禁止令のこと

研究方法

①条件を同じにするため、百度知道から検索

②「日本動漫」「不喜欢（嫌い）」「喜欢（好き）」「讨厌（嫌だ）」「反日（反日）」等がキーワード

③投稿・回答日が10年経った2016年以降

④中国人の日本に対する考え方は変わったのか、2006年と比較検討

※日本動漫を通した一側面的な結果

結果

◆2006年※記載順序に優劣なし ※一部抜粋

1	歴史を忘れないということは、二度と間違いを起こさないためであり、決して日本人がかつて日本人を傷つけたことを忘れるなということが目的ではないから。（同意見多数）
2	憎んでいるのは日本人であって日本のアニメではない。
3	憎んでいるのは歴史と歴史を正視できない日本人。日本のアニメは民族の問題を扱っているわけではない。何よりも日本のアニメはかっこいい。だから好き。
4	日本人を憎んでいるからといって文化まで遠ざけるのはよくない。日本のいい所だけを学びとって、そのあとの競争で日本を打ち負かすことが賢明。
5	日本はゴミだ！
6	日本のいい所を学び取って、中国の補うところを補うべき。日本の全てを否定するのはよくない。
7	日本は確かに中国を侵略して中国人を惨殺した歴史と日本人をごちゃまぜにすることは賢明ではない

◆2016年以降※記載順序に優劣なし ※翻訳：小谷萌夏

1	アニメを見る大部分の若者は、中国を破滅させるような歴史の印相はなく、歴史の題材を嫌う若者も少くない。
2	わたしも（日本動漫が）好きだが、日本人の大部分は嫌いだ
3	日本のアニメはとてもポジティブだ！青春ものと正義が主題です。軍国主義のテーマは除いて。。
4	全部低俗なものだと思う。やはりアメリカ漫画も思慮深いもので、とても考えさせられる。
5	全てが嫌いなわけではない。昔のアニメはとてもいい。《クレヨンしんちゃん》《名探偵コナン》は現実味があっていい。しかし現在の日本動漫はSFやかわいらしいものだから嫌いである。
6	あなたは何歳なんだ・・・。

まとめ

著書（2006年）では歴史的背景から考える人が多いものの、文化とは結びつけていない意見が多かった。それに比べ2016年以降は、日本動漫という一つのコンテンツから日本を考えている人が多かった。つまり、日本に対する印象は変わっていないが、見方が変わっていた。

とはいえ、現実性を求めていたり、国家に付随する内容を嫌う特質があるのは、愛国主義教育から発生するものなのかと疑問に思った。

参考文献

遠藤誉 「中国動漫新人類 日本のアニメと漫画が中国を動かす」 日経BP社 2008/2/12

日本貿易振興機関（ジェトロ） 「中国アニメ市場調査」 [animation.pdf\(jetro.go.jp\)](http://animation.pdf(jetro.go.jp)) 2021/12/16

百度知道 [大家是不是都讨厌日本动漫_百度知道\(baidu.com\)](http://www.baidu.com) (2021/12/9)

〃 [中国人不是讨厌日本吗,为什么却又对日本动漫这么痴迷_百度知道\(baidu.com\)](http://www.baidu.com) (2021/12/10)